

## 一貫性のある教育と福祉

### ～デンマークの教育カリキュラム教育と職業の連携～

NPO法人アキハロハスアクション

藤井 朋子

#### 1.はじめに

各施設を視察させていただいて、物的、人的、精神的に余裕があるのを感じ、どの施設もゆったりとした雰囲気の中で、働く人も、利用者や子ども達も過ごさせているように思えた。

国民消費税は25%、平均所得税約50%でも福祉や教育の分野でしっかりと国民に使われているのが分かる研修だった。

#### 2. プログラムのない保育は素晴らしい

幼児期から自己責任自己決定を大切しており、保育園での導線の中でも自分で選択して、自分でできる事は自分でできるように工夫されていた。子どもの時は子どもらしくという決まったプログラムのない保育は素晴らしいと感じた。

とにかく快適に安心して過ごせる場所という印象が強かった。

1つ1つのスペースや遊具のあらゆる部分にお金が使われているのを感じた。

子どもの様子はそれぞれの子供達が行いたい事をその時の気分に合わせてできているようで、どこか一か所に固まって遊んでいるというより、園庭のあちらこちらの遊びが魅力的だった。子ども達の遊び心が刺激されるような居場所があちらこちらにあった。

市からきちんと予算が降りてきて、施設、物が豊かだと思った。快適、安全、安心ということが非常に強く感じられた。日本の快適、



安全でも無機質な環境ではなく、センスの良い壁面、子どもの作品、家具はロスキレ市の基準にあった特定のメーカーの物らしい。

園長曰く日報は無い。月単位で子どもの事をまとめて話すそう。こういうしくみはいつでも聞きたいときに子どもの様子を聞けるという保護者との信頼関係の元で成り立つと思うとのこと。

#### 3.工夫がみられる国民学校

国民学校では小学校低学年の子ども達の様子を見学。様々な国々の人々が一堂に会し、教育が行われていた。

子ども達の目が輝いていて、歴史的にみると第2次世界大戦で敵同士だった国同士の子孫も(3代目くらい)共に学び、仲良く遊んでいた。お互いの国の歴史も事実として授業でも教えるそう。

授業では低学年のクラスを見学したが、英語の授業をしていた。クラスでは救急法について英語で学ぶという複合カリキュラム的

な内容で行われており、字を追うだけでなく実際に色々と考えながら救急法を実際に演じてみたり、ブレインストーミングを交えたりと工夫が見られた。

今年の8月に学校改革がスタートし、子ども達の学校で過ごす時間が午後14時までに延長し、基本科目である数学、国語の時間を増やした。早期語学教育として1年生から音楽、芸術といった他の教科を扱いながら英語を学ぶ。5年生になるとフランス語、ドイツ語などの第2外国語を学ぶ。

宿題カフェというものがあり、放課後の宿題をサポートするカフェが校内にある。

昼食後は、生徒の集中力を喚起するために、授業中に意識的に声を出したり、体を動かしたりして、リフレッシュするように工夫されており、子ども達のモチベーションアップに役立っている。

見学に行った日は、1年生の英語を使いながら救急法をしており、ドアで手を挟んだお友達に対してどう対応するかを実際に演じながら授業を受けていた。



#### 4.本格的な遊びをする学童クラブ

学童保育は衝撃的だった。ゴーカート、演劇、ゲーム、乗馬、クライミング、まき割りや焚火といった遊びが本格的だった。



各自の選択でそれぞれのやりたい事を放課後に追及していた。子ども達は自分がやっていることに対し自信を持っている様子で、誇らしげにみせてくれた。

\*10～15歳の子どもの放課後過ごす余暇クラブ。

\*ロスキレ市と契約。子どもの数に応じて市から予算がおりる。

平日：13：30～17：30

休日：9：00～15：00

平日は約100人を6人で見る。

\*自分を知り、友達を作る手助けが大人の役割。

#### 〈教育方針〉

- ①共同の精神：自らも与える。
- ②違いを認める事：自分を知り、相手を知り、お互いを尊重し合う。
- ③喜び：楽しく生きる、幸福感を味わう、ここにを楽しみに。
- ④健康：体・精神の健康

#### 5. 自分はどうしたいのか自分で決められる

高齢者、障害者施設でも、プライバシーや自己決定が大切にされており、一人一人の今までの生活の延長線上の暮らしとしての施設という印象でそれぞれの人の部屋に各人の個性や今までの人生や趣味嗜好が表れていた。入居者も自分の着たい服を着て、好き

な本や、たばこ、音楽や絵画を楽しんでいた。

幼いころから、自分はどうしたいのか自分で決めて行動し、何が好きなのかを気づき、極められるような機会が提供され、将来社会で働くことを見据えた教育という一貫性が素晴らしかった。

## 6.再教育を受ける権利とシステム

そして教育の途中や、働いている途中で他にやりたい職業や学びたい事ができた場合は、再度教育を受ける事ができるシステムがあった。

澤渡氏のレクチャーでもあったが、「働くことは生きること」という言葉が非常にポジティブに響いた。ニートや引きこもりが増えている日本、働くことの意義や、意味を失いがちであるが、自分を大切に育ててくれた国に恩返しをしたくなるシステムがそこにあった。

## 7.自分が得意な事を伸ばし社会に貢献する

とりあえず勉強して将来の事は漠然と考えて、好きな事や得意な事の大学を選ぶという「とりあえず大学に入る。」という選択肢が生まれにくいシステムのような気がした。

小さなころから、「自己責任、自己決定。」で育った子ども達。自分が得意な事を伸ばし、社会に貢献することが「社会で生きていく事」に直結していくようなシステムだと思った。

高い税率でも、国に愛されているという感覚を感じている国民たちは、国に貢献する大人になる。

## 8.私は日本人である

研修中、自国について改めて考える良い機会となった。正直な所私は日々の生活に手一杯で自国の伝統文化に誇りはあるが、政治に

対してはあまり関心が持てなかった。

政治は私に何のバックももたらさない、政治家はだれがやってもあまり私の今の生活に影響はないだろうと…。

## 9.地域からインパクトを起していく

一方で私は地元秋葉区が大好きだ。幼いころから商店街で育ち、祭りや行事、日々の事で地域の皆さんに大切にしてもらった記憶がある。

帰国してから園長と振り返った際に、国レベルで変えるのは時間がかかるから、地域からインパクトを起していく！という姿勢になるほど！と思った。

改めて地域と繋がりながら今自分の立場でできる事をしていきたいと思い、今の自分の仕事を肯定できるような気持ちになった。

そしてデンマークが大切にしている「自己決定、自己責任」の精神が息づいている「森のようちえん」という活動の先に「自分で考え行動する大人」が育っていくという希望を感じた。

## 10.人や地域と繋がってより良い関係を

今回の研修で行政と教育機関のつながりを感じ、手厚い行政の動きも良く見れた。今の職場での秋葉区役所と Akiha 森のようちえんの関係は施設利用の決まりからしてデリケートな部分が多く、活動の制限もある。けれど、地域の理解を得てしっかりと人や地域と繋がってより良い関係を築いていけるようにしたいとも改めて思った。

## 11.森のようちえん

4人で29人を保育する。2人が男性、2人は女性で、二人とも猟師でもある。刈った鳥を子ども達の前で捌いて調理もする。





この日は朝小雨が降っていたがお散歩に出かける時にはやんでいた。

集まって来た子はそれぞれ園庭で自由遊びの後、近くにある鹿公園へお散歩。

途中で小学生のお散歩の団体にも遭遇。卒園生と園長との再会の時でもあり、皆とても嬉しそうだった。

お散歩コースでは乗馬をする人もいるので、馬の道には行かないというお約束がある。

スタッフは1番手と最後の人は誰が歩くか決まっている。

途中、野生の牡鹿に遭遇。子ども達は騒がず、鹿を刺激しないように近づかないように移動していた。

着いた先で倒木に登ったり、倒木の基地的な物の中で遊んでからお昼。特におしぼりではなく、持ってきたサンドイッチなどを食べていた。

## デンマーク一般事情&子育て事情

(お話し：澤渡 夏代 Brant さん)

### 〈福祉とは〉

Welfare=健康、快適な生活などを含めた意味での幸福。

### 〈デンマークってどんな国?〉

- ①高レベルの福祉国家
- ②国民一人当たりの所得が世界で上位
- ③女性の社会参加とそれを支える社会の仕組みが最も進んでいる国
- ④所得格差が世界一少ない国
- ⑤高い税金を負担しながら世界で最も幸せと感じている国民…
- ⑥高度な民主主義社会

### 〈デンマーク社会が求めている人間像〉

- ①自分でものごとを考え、判断できる自立した人間
- ②自己決定・自己責任  
個を尊重し自己決定を促す⇒自分で自分の人生を選ぶ⇒生きる喜び・仕事への喜び
- ③連帯の尊重 結束する重要性、社会の中の一人

### 〈社会サービス〉

- ①フレックス産休・育児休暇 52週
- ②医療費無料…ホームドクター制度
- ③乳児・幼児保育の完備…自治体
- ④学童保育、青少年クラブの完備…自治体
- ⑤教育費無料
- ⑥18歳まで児童手当給付(約1万8千円)

## ⑦18歳まで公費歯科診療



### 〈デンマークの一般事情〉

- ①18歳で成人
- ②複世代の同居は減少
- ③夫婦共働き（女性就労率 73.1%、男性就労率 79.4%）
- ④1 常勤：週 37 時間労働、週休完全 2 日制、有給休暇は年間 5～6 週間、産休・育児休暇は 52 週間

### 〈デンマークの民主主義とは〉

- ①「人」は大事な国の資源
- ②個の尊重 個の違いを認める。競争や管理から生まれるものはない。
- ③参加する
- ④幅広い選択肢
- ⑤平等
- ⑥協同精神

### 〈子どもの居場所〉

- ・0-2 歳児：56.1% 乳児保育園・保育ママ
- ・3-5 歳児：94.0% 保育施設
- ・6-9 歳児：87.0% 学童保育
- ・10-13 歳：12.6% 青少年クラブ
- ・14-18 歳：青年クラブ

自治体に保育義務。学校にクラブ活動無し

### 〈デンマークの教育 - 国家繁栄の鍵 - 〉

- ①教育は何のため＝生きるために教育と職業の連携
- ②全人教育：人間として豊かに「学びは内からくる動機が無くてはならない」
- ③個の尊重：個を尊重し自己決定を促す⇒自分で自分の人生を選ぶ⇒生きる喜び・仕事への喜び
- ④義務教育後：多様な選択肢

### 〈自立を促すシステム〉

- ①18歳で成人
- ②適材適所の教育をうける…公費
- ③教育を受けて給料
  - (1) 学生援助金
    - 実家…45,760 円
    - 独立…92,048 円
  - (2) 見習い給料制度
- 例・・・社会、保険ヘルパー/アシスタント  
養成学校

